

毎月11日掲載

### 巡回ワークショップ @塩釜・浦戸小中学校

## むすび塾

低地にある道路と通学路を担

熊野神社の標高は約8.5m。2階建てで高さ約7mのセンターを見下ろすことができた児童は「神社の方が高い」「港の近くで津波が来たから神社に逃げよう」と話し合

た。別のグループは、港周辺の低地にある道路と通学路を担

て、港近くにある浦戸諸島開発総合センターを出発した。約1.2km離れた学校までの通学路や、高台の避難道などを歩き、タブレット端末のアプリを使って、各地の標高を記録した。

1グループは、センター裏手の高台にある熊野神社と、地元で「樺つばき」ロード」と呼ばれる舗装していない遊歩道を探索した。センター裏の災害公営住宅では案内板を発見。2棟の建物間を通って高台の避難経路に続く道を「緊急避難ルート」と赤字で記していた。

同行した被災・復興支援機構(東京)の宮下加奈専務理事は「看板があったら要注意。見ると緊急時にどこを通ったらいいかわかる。普段から看板を意識してね」と助言した。

東日本大震災の教訓を生かすため、河北新報社は11月24日、巡回ワークショップ「むすび塾」を塩釜市の浦戸小中学校で開いた。東北以外の開催を含め通算49回目。協賛する日本損害保険協会(東京)の安全教育プログラム「ぼうさい探検隊」を取り入れ、全児童15人が校舎のある野々島の標高を調査し、災害発生時の素早い避難を誓い合った。

# 島内の標高歩いて調査



児童はグループに分かれて、港近くにある浦戸諸島開発総合センターを出発した。約1.2km離れた学校までの通学路や、高台の避難道などを歩き、タブレット端末のアプリを使って、各地の標高を記録した。

2グループ合わせて十数カ所の標高を調べたほか、通学路の途中にある震災の浸水エリアも確認した。調査地点の中で最も標高が高かったのは学校の約23mだった。

宮下専務理事は「標高を確かめただけでも、いろいろなことに気付く。これからの防災に役立つものや危険な場所を地図に書き込んで、自分たちの島を詳しく知る活動を続けてほしい」と呼び掛けた。

## 人口400の浦戸諸島



塩釜市の浦戸諸島は、松島湾に浮かぶ島々を指す。桂島、野々島、朴(ぼ)島、寒風沢(さむかざわ)島の有人島と、多くの無人島で構成されている。有人島の人口は2015

## 小中一貫校 ことし開設

年8月末現在、計400。震災で津波の被害を受け、人口は3割減った。主な産業はカキやノリの養殖を中心とした水産業。震災前は観光業も盛んで海水浴客でにぎわった。震災後は営業を休止している宿も多い。浦戸小中学校は2015年4月、小中一貫校として開校した。前年度までは浦戸小学校と浦戸中の併設校だった。特別支援学級も併設している。児童36人のうち31人が学区外から船で通学している。



地図上にチョコレートを重ねて標高を再現した



イラスト 東海林博之

## 島住民鈴木宏明さん(68)の話

### 避難の大切さ語り継ぐ

### 地震が来たらすぐ高台へ



東日本大震災の発生時は、浦戸諸島開発総合センターに

いた。地震の後、赤ん坊から90代のお年寄まで大勢の住民が橋を渡り、高台の避難所まで避難した。途中で、島に押し寄せる津波が見えた。野々島は高台が少ない。東日本大震災では島の大部分を津波が襲ったが、幸い亡くなった人やケガ人はいなかった。

た。野々島では昔から「地震の後には津波が来る」と避難の大切さを語り継いできた。至るところに高台になる道も造られた。だから犠牲者を出さずに済んだ。

震災では、地震発生から津波が来るまで約1時間あった。しかし、地震のすぐ後に来る津波もある。どこにいっても自分の命を守り、どこを歩かないように行動しよう。

地震が来たら、高台へ逃げるといふことを忘れないうば、家族や大切な人も守れる。

## 危険箇所調べる学習有効

このような課題を解決するには、学校や通学路などのような場所に立地しているのを知る必要がある。今回のように地盤の高さや災害時の危険箇所を調べる学習は有効だろう。

また、学校や児童生徒と、地域との交流も大事だ。地元の人から東日本大震災の話や防災訓練に取り組みたりして普段から顔見知りになっておくと、いざというときに役立つ。

木村 拓郎さん



減災・復興支援機構理事長 木村 拓郎さん

東日本大震災の教訓を生かすため、河北新報社は地域住民らと一緒に、巡回ワークショップ「むすび塾」を開いています。名称には、地域と人、人と人のつながりを強め、防災・減災に結び付けていきたいとの思いを込めました。次回の「むすび塾」は13日、宮城県山元町の花釜行政区で開催します。

## 塩釜・浦戸小中学校



【参加して】思っていたよりも、標高の低い場所が。港周辺は低く、学校はあった。震災当時の大変さ、高いことが分かった。津波が来たら逃げたい。津波が来たら逃げたい。津波が来たら逃げたい。



【参加して】標高を調べて、港周辺は低く、学校はあった。震災当時の大変さ、高いことが分かった。津波が来たら逃げたい。津波が来たら逃げたい。津波が来たら逃げたい。



【参加して】野々島の危険な場所や、もしもの時の避難場所が分かり、良かった。津波が来たら、高さを調べて道を使って避難しようと思う。



【参加して】防災についてクイズなどで楽しく教わった。津波が来たら、高さを調べて道を使って避難しようと思う。



1年菊池恵佳さん



2年佐藤和弘さん



2年本郷幸陽君



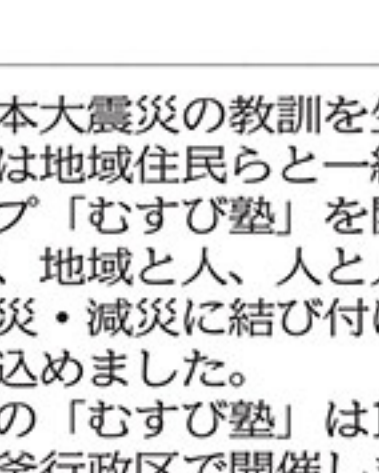
3年小川朋希君



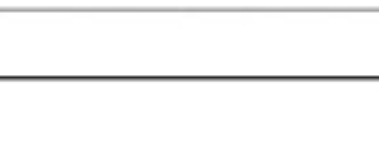
3年菅井日心さん



3年山本深生佳さん



3年中沢千世さん



3年山本深生佳さん